

「ガラスびん」の利用に関する消費者意識調査2023の報告

(2022年12月実施)

日本ガラスびん協会では、一般生活者の「ガラスびん」の利用状況やイメージ、評価、潜在ニーズ等を分析し、「ガラスびん」の利用促進と今後のプロモーションの参考資料とするため、1000名を対象にアンケート調査を実施いたしました。今回の調査では、2008年と2014年に行った調査項目のほか、ガラスびんの環境特性やSDGsに対する意識を探るため、新たな項目を加え実施しました。

(実査委託先：楽天インサイト株式会社)



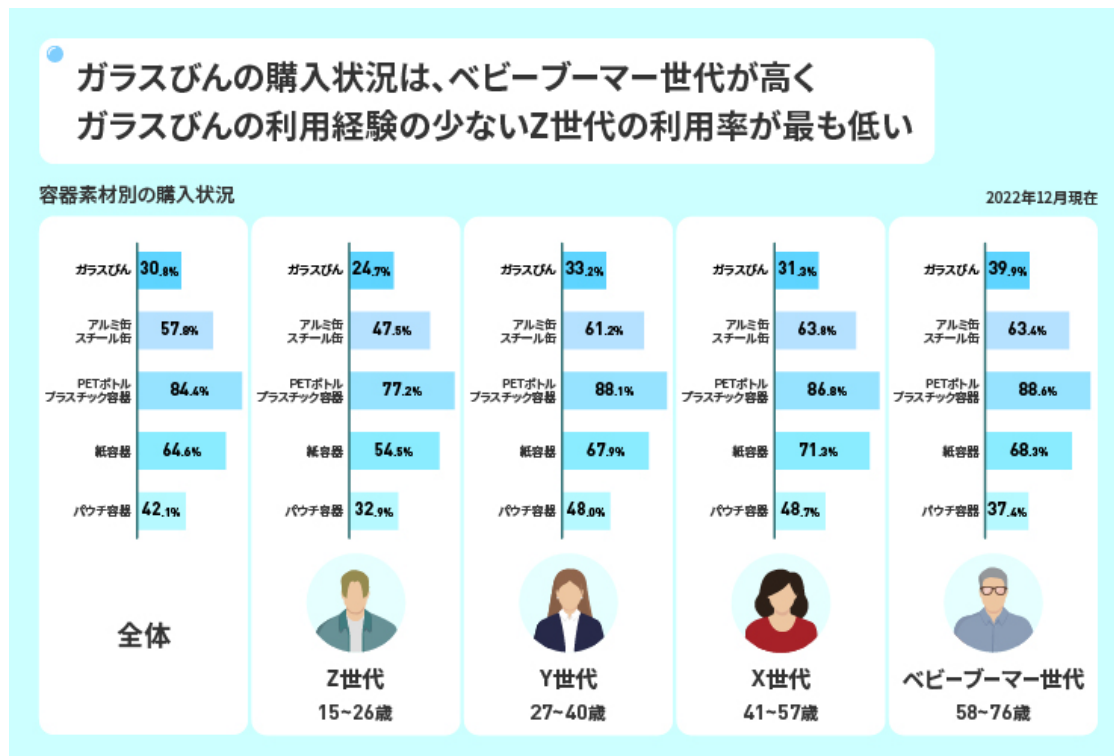
環境への影響が少ない
ガラスびんの特徴が幅広い世代に
浸透しつつあることがわかった一方で、
知識の偏りという課題も浮き彫りに。

コロナ禍により私たちの生活様式が変わっていく中で、次世代の若者をターゲットにした分析も重要であると考えています。

ガラスびんは天然素材が主原料であることや、水平リサイクルできる容器であることなどは世代に関係なく広く認識されていることがわかった一方で、若い世代にとっては、生活習慣でガラスびんに接する機会が少なく、ガラスびんに対する理解が得られていないという実態も見えてきました。

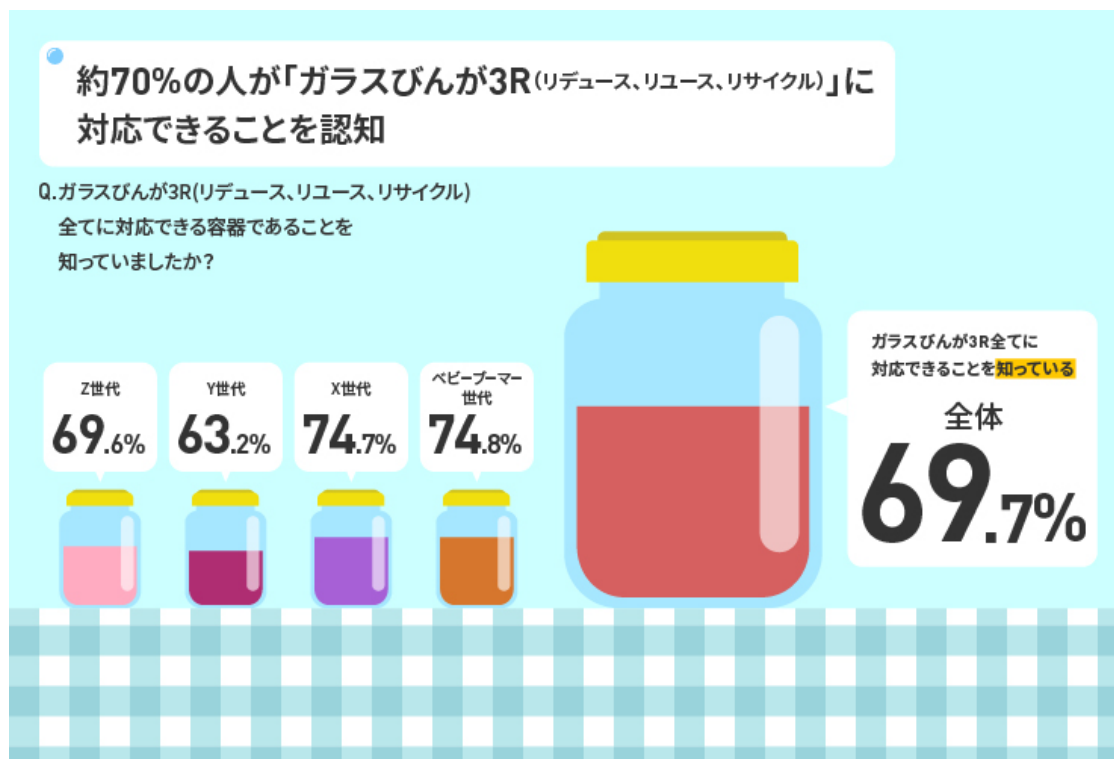
主な調査結果は以下となります。

1) ガラスびん入り商品の購入状況について

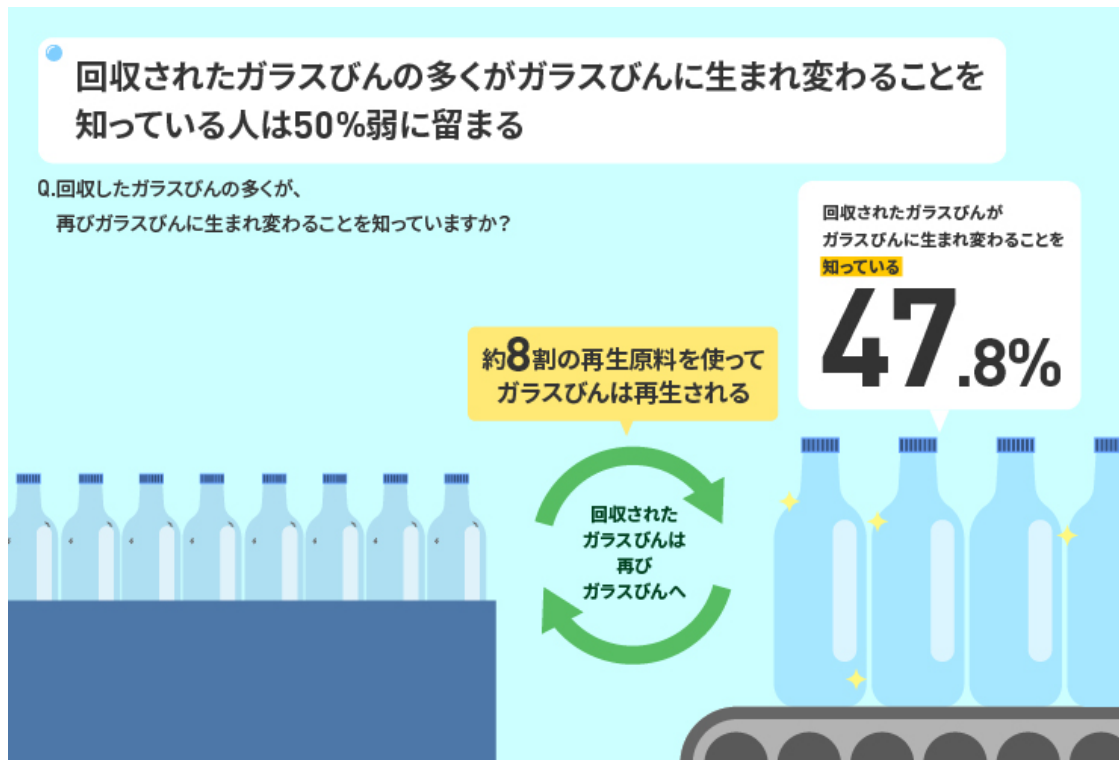


- ・素材別の容器購入状況では、利便性の高いPETボトルがどの世代でも最も高くなっています。
- ・ガラスびん購入状況は前回調査よりも低下しました。

2) ガラスびん入り商品の購入状況について



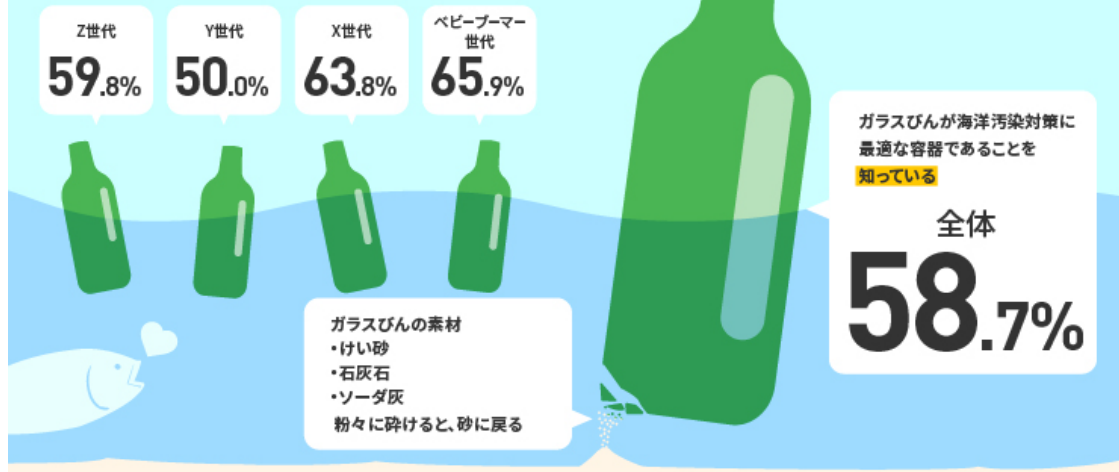
- ・ガラスびんは素材劣化をしないため、何度でも繰り返し再生できる「水平リサイクル」が可能な容器です。
- ・ガラスびんの水平リサイクルを支えるのは、分別廃棄をする消費者の意識、資源回収する自治体、再生資源として処理をする事業者の高度な資源循環システムですが、認知率は50%に満たない結果となり、課題が浮き彫りとなりました。



- ・ガラスびんは素材劣化をしないため、何度でも繰り返し再生できる「水平リサイクル」が可能な容器です。
- ・ガラスびんの水平リサイクルを支えるのは、分別廃棄をする消費者の意識、資源回収する自治体、再生資源として処理をする事業者の高度な資源循環システムですが、認知率は50%に満たない結果となり、課題が浮き彫りとなりました。

ガラスびんが海洋汚染対策に最適な容器であることは約60%の人が認知

Q.天然素材のガラスびんは主原料である砂に戻るため海洋汚染対策に最適な容器であることを知っていますか？



- ・ガラスびんの主な原料は砂。その内訳は「けい砂」「石灰石」「ソーダ灰」の天然素材です。そのため海を環境汚染することがなく、環境負荷の非常に低い容器です。
- ・近年のマイクロプラスチック等への関心の高さもあり、ガラスびんが海洋汚染対策に適した容器であるという認知率は約60%にのびりました。
- ・世代別に見ると、SDGsに関する質問では、Z世代が他の世代より高くなる傾向が見られました。

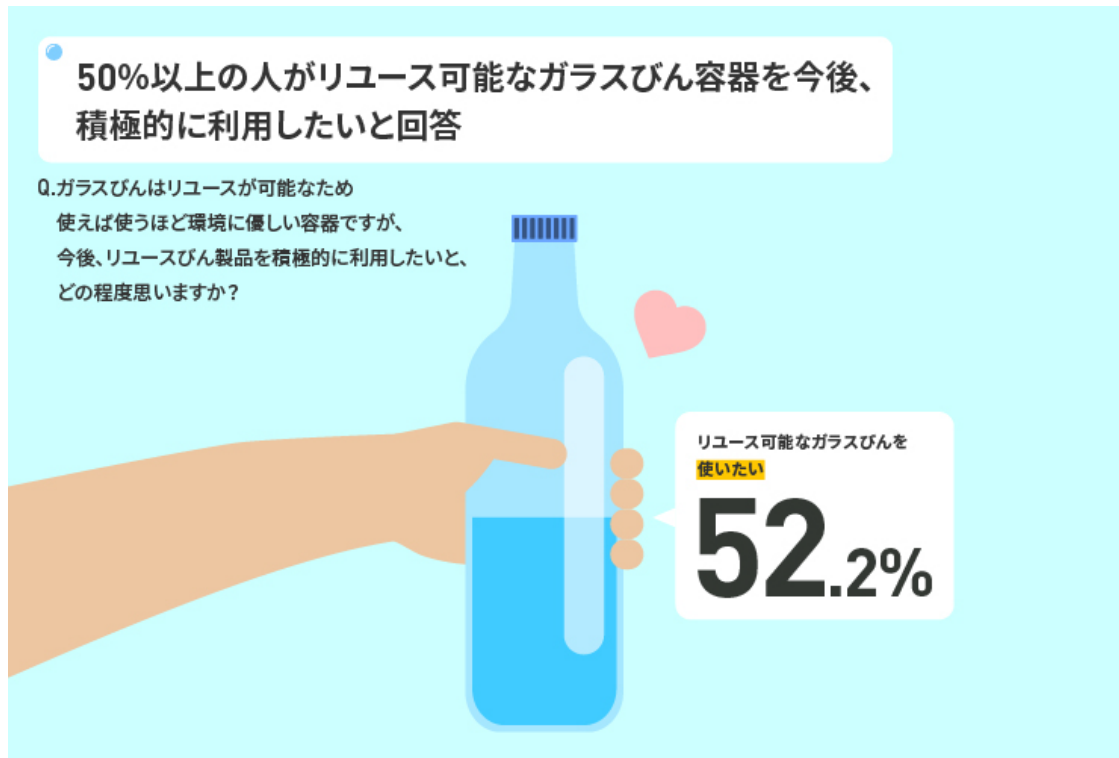
環境保全のための水平リサイクルに向けて購入・利用を増やしたい商品パッケージとしてガラスびんは一番高い期待値を獲得

Q.SDGs目標の達成や環境保全のための水平リサイクルに向けて今後購入・利用を増やしたい商品パッケージはありますか？



- ・ガラスびんが最も高い評価を獲得。「びん to びん」の水平リサイクルへの高い期待が読み取れました。

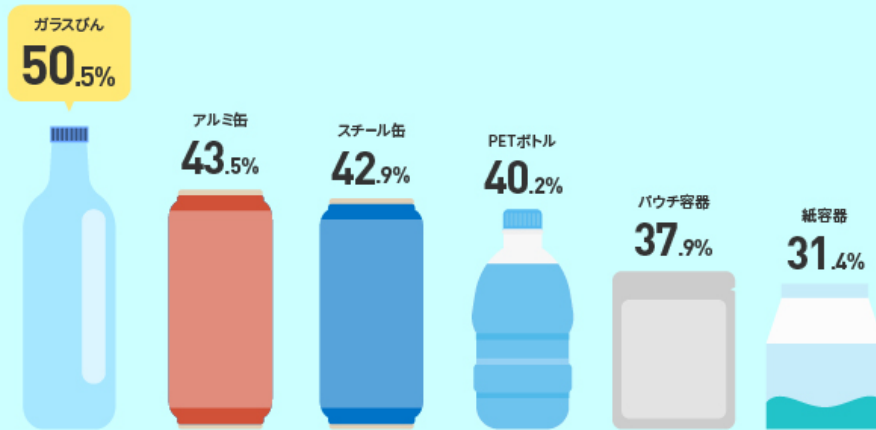
- ・商品の環境性と購入意向調査では、Z世代が最も環境配慮の意識を持っていることがわかりましたが、一方で、ガラスびん購入意向や具体的な行動には連動しておらず、同世代への訴求活動の必要性が明らかになりました。



- ・全体の半数以上が環境負荷の低いリユースびんを積極的に使いたいと回答しました。
- ・「環境意識の高い」属性で見ると76%が積極的に使いたいと回答。
- ・ガラスびんはリユースが可能なため、使えば使うほど環境にやさしい容器であるため、より一層の利用促進が求められています。

● **食の安全性**(内容物の保護性能、内容物の品質への影響の有無など)
について、ガラスびんは最も高い評価を獲得

Q.食品の安全性(内容物の保護性能・内容物の品質への影響の有無など)について、どの容器が優れていると思いますか?それぞれの容器について、お答えください。

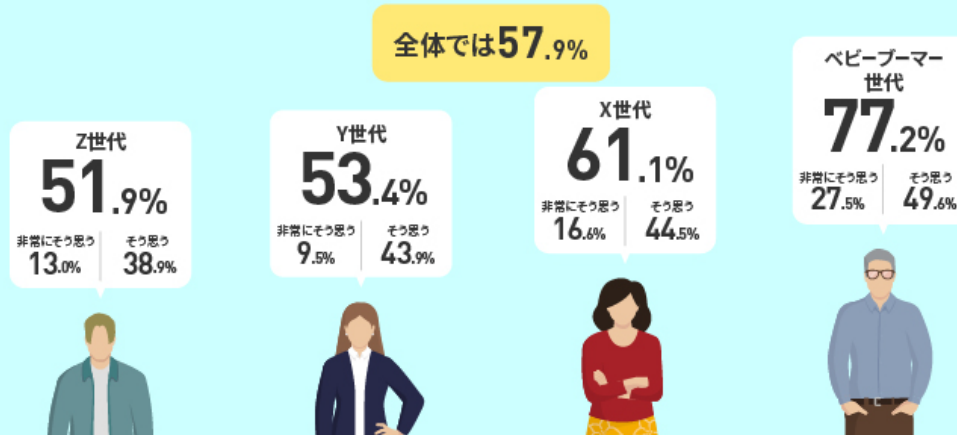


- ・「食の安全意識の高い人」や「年齢層」が高くなるほど、ガラスびんへの評価が高くなる傾向が見られました。
- ・無機素材を主原料とするガラスびんの大きな特徴は、食品や飲料等が有機素材に触れない唯一の密封包装容器であることです。
- ・ガラスは安定性も高く、有機物質も溶出しないため、安全で衛生的。におい移りもないため、気持ちよく利用できる容器です。

● **欧州では91%の人がガラスびんを最も良い容器として
 家族や友人に勧めたいと回答、
 その情報を踏まえて約58%の人がガラスびんを見直したいと回答**

Q.欧州では91%の人がガラスびんを最も良い容器として家族や友人に勧めたいと回答しています。

その情報をふまえて、ガラスびんを見直したいとどの程度思いますか?



- ・欧州では91%の人がガラスびんを最も良い容器として家族や友人に勧めたいと回答（2020年 消費者意識調査 FEVE 調べ）していますが、その結果を受けてガラスびんを見直したいかという質問に対して約58%の賛同が得られました。
- ・なかでも、ベビーブーマー世代では77%と高い回答を獲得。
- ・ガラスびんは高年齢層になるほど評価が高く、低年齢層の評価が低くなる傾向が見られました。
- ・SDGs教育を受けているZ世代では、「非常にそう思う」と答えた人がY世代を上回る結果が見られました。
- ・ただ、Z世代は幼い時から他素材容器を利用する機会が多く、ガラスびんに対する理解が得られていないことがわかりました。

3) アンケートを受けて

調査全体を通して、環境への関心の高まりもあり、若い世代ほどガラスびんが環境への負荷が低いという知識が浸透しつつあることがわかりました。一方で、若い世代ほど日常生活においてガラスびんとの接点が少なく、ガラスびんをどのように生活に取り入れていくかという点において、課題があることがわかりました。

今後の需要を担う若い世代に対し、ガラスびんの価値を伝える訴求活動と同時に、購買につながる機会づくりの必要性が明らかになりました。

- ・ 調査年月： 2022年12月
- ・ 調査手法： インターネット調査
- ・ 調査対象者： 全国15～79歳の男女
- ・ 実査委託先： 楽天インサイト株式会社